

東京消防庁千住消防署の取り組み

東京消防庁千住消防署は、消防、救急業務を行う東京都の施設です。タブレットの支給や会議にはパソコンで資料を参照し、資料の印刷はしないなどペーパーレス化を推進しています。

令和4年度から令和5年度にかけて紙類が1t削減されており、積極的に廃棄物の発生抑制や資源化、適正処理に取り組んでいます。

【発生抑制の取り組み】

- ア 感染の恐れがある感染性廃棄物以外は、収集時に毎回職員が計量、記録したうえで処理業者へ引き渡しています。
- イ 個人で持ち込んだごみ（ペットボトルや雑誌類等）の持ち帰りを従業員に促しています。

【資源化の取り組み】

リサイクルボックスの活用が定着し、雑がみについても、具体例や禁忌品をイラスト付きで掲示することで職員に分別を呼びかけています。また、シュレッダーくずもリサイクルすることにより、紙類の再利用率は100%となっています。

【適正処理の取り組み】

- ア 産業廃棄物の処理委託業者が変わった際には、経理係職員が適正処理に関する講習会を開催しています。出張所にはZoomでの配信も行っています。
- イ 分別容器には詳細表示とイラストがあり、分別が周知、徹底されています。保管場所についても品目ごとの表示により置き場所が明確化され、適切に管理されています。
- ウ 電池、スプレー缶等処分に注意が必要なものについては、詳細な注意事項を掲示しています。処理方法に迷うものは廃棄物管理責任者の所属へ相談を呼びかける等、職員との協力体制も構築されています。